

千葉南高校 保健室だより

令和2年度 第3号

しりとりで負けないための一つの言葉

しりとりで勝つためには、次につなぐ人が見つけにくい最初の文字を要求するような言葉を探すのがポイントだよ。特に「ら」行で始まる言葉は結構難しいかなって思うよ。

「駱駝」「酪農」「ラジオ」「ラスク」…「ラーメン✕」「ライオン✕」。「り」がもっと難易度高いかな。

そこで、あんまり普段使わない「ら」から始まる言葉の一つ紹介させてね。「勝つため」より「防御」の要素が強いかな。

それは「螺髪」だよ。「らほつ」って読みます。

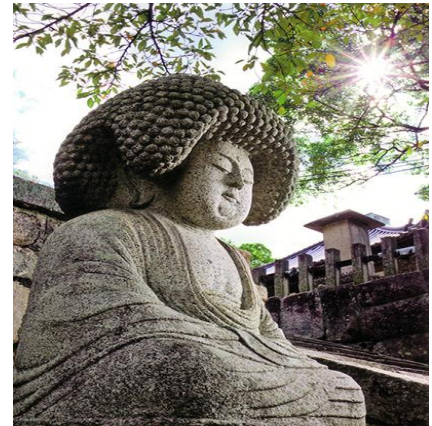
この言葉は私が唯一読んでいるコミック「聖（セイント）☆おにいさん」で知りました。これは、ブッダとイエスが立川のアパートでバカンスを過ごすお話です。ちょっとだけ実写ドラマにもなりました。ブッダ役が染谷将太さん、イエス役が松山ケンイチさん。ストーリーの中では、二人の聖人の歴史上のできごとなどをモチーフにした会話も出てきて、つい「くすっ」って笑っちゃいます。

螺髪とは仏の髪の毛のこと。仏の三十二相八十種好の一つで、縮れて右に渦巻く巻貝の形をした頭髪。知恵の象徴とのこと。古来インドの階級の高い人たちの髪型に由来しているそうです。因みに奈良と鎌倉の大仏では、螺髪の数が多い、しかも鎌倉の大仏だけ左巻きだとか。

私はお絵描きしりとりでも時々、この螺髪を使わせていただいております。良かったら、みんなの語彙の一つに加えていただけたら幸いです。

京都 金戒光明寺HPより

五劫思惟阿弥陀仏の螺髪がすごい！！



「聖☆おにいさん」中村光著
モーニングKC 講談社

しりとりみたいな絵本のご紹介

昔から好きだった、しりとりでできている絵本があります。普通のしりとりと違うのは、名詞以外の言葉も加わってくるんです。

絵本の名前は「**ま**まです **す**きです **す**てきです」しりとりの「くま」の後に「ままです→すきです→すてきです→すてき→き→きらいな→なまけもの→のりまき→きった→たべよかな」って感じで、声に出して読むとなんとも心地よい響きを感じるんです。

言葉だけでなく、絵もすごいんです。これは実際に見ていただくしかないかな。説明しようがありません。

文：谷川俊太郎 絵：タイガー立石
福音館書店

